# 甲府市における公共交通の利用促進策について



甲府市 まちづくり部 リニア交通室 交通政策課

※掲載した利用促進策は、コミュニティバス事業に特化したもの以外も参考に掲載(主なもの)しています。

# 2020(令和2)年度の実施施策

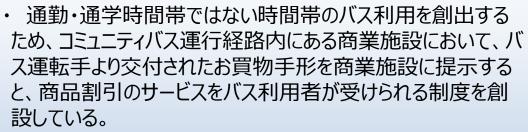
★:継続事業

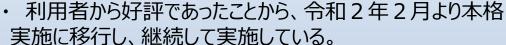
### 「バス利用お買物手形事業」の継続実施

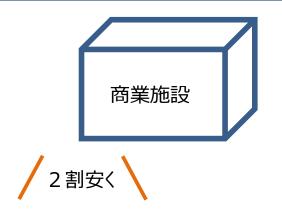
#### 背景·課題

- ・ コニュニティバス利用者が減少する ことは、運行委託料の増額につなが る場合があり、市の財政負担を圧 迫することが考えられる。
- ・ 乗車閑散時間帯にバスの利用者 を増やすための仕掛けづくりが必要と なる。

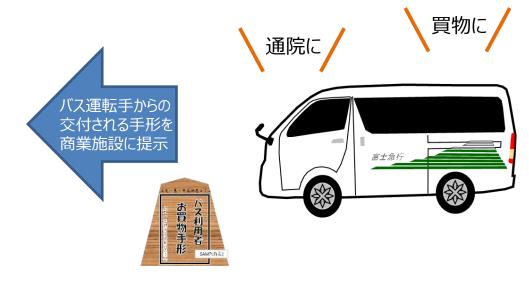
### バスの利用で買物がお得に







- いちやまマート増坪店
- ⇒ お好きなものが1点限り2割引き ※一部対象外があります。



※手形イメージ

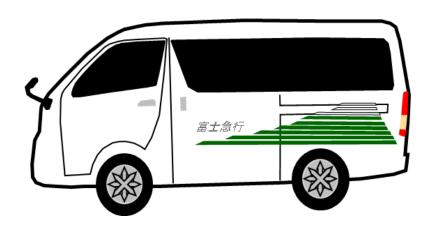
### 「甲府駅ー玉諸小学校線」の運行本数増便等

### 背景·課題

・ 玉諸地区は、本市で2番目に人口の多い地区であるところ、現況においては、人口密度の割には路線バス(玉諸小学校線)の運行本数が少なく、公共交通の利便性が低い状態となっている。



- ・富士急バス(株)の富士山線回送便に着目し、富士急バス (株)との間で活用を協議した結果、「実証実験により採算性が 認められる場合は、本格運行へ移行」することで協議が調ったことか ら、本市立ち会いのもと、玉諸地区自治会連合会と富士急バス (株)が、運行に関する協定書を締結し、運行本数の増便(朝 2・夕2便)をはじめ、路線の延伸・停留所の新設を行った。
- ・ 新型コロナウイルス感染症の影響等により、実証実験では、採算性が認められなかったが、令和3年4月より本格実施(本数は朝1・夕2便)に移行した。



## 「観光周遊モデルルート~思い出づくりは路線バスで~」の周知

#### 背景·課題

- ・ 公共交通の利用者は、平日 よりも休日の方が少なくなって いる。
- ・ 観光客の移動手段として、 公共交通の分担率は低くなっ ている。





- ・ 市内の主要な観光地を路線バスで巡るモデルルートを令和2年 10月に作成しており、国内観光客等に提供することにより、二次交 通としてご活用いただくとともに、路線沿線地域の活性化が図られる ことが期待される。
- ・ モデルルートは、県内随一の交通結節点の甲府駅周辺に立地している観光案内所に設置したほか、本市 H P で公表している。



# 2021(令和3)年度の実施施策

## 「乗継バスマップ」の周知

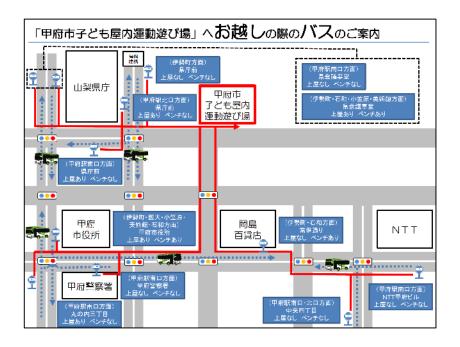
#### 背景·課題

・ バス路線は甲府駅から放射 状に形成されており、甲府駅 以外の地区同士を路線バスで 移動しにくくなっている。





- ・ 甲府駅を経由しない形での乗換案内を周知することにより、地区 同士を路線バスで移動しやすくし、利用者の利便性向上を図られ ることが期待される。
- ・ 本市HPや市関連施設等にて配布している。





#### 関連URL

## 多言語に対応した「観光周遊モデルルート」の周知

#### 背景·課題

- ・ 公共交通の利用者は、平日 よりも休日の方が少なくなって いる。
- ・ 観光客の移動手段として、 公共交通の分担率は低くなっ ている。

### インバウンドの観点でも路線バスの二次交通化を促進



- ・ 市内の主要な観光地を路線バスで巡るモデルルートである「甲府市観光バスマップ」を令和 2 年度公表しているが、外国人観光客向けに、多言語(英語、中国語、韓国語)対応したモデルルートを作成している。
- ・ モデルルートは、県内随一の交通結節点の甲府駅周辺に立地している観光案内所に設置したほか、本市 H P で公表している。





